

- 1…浦和東、残念。2回戦で散る
～第90回全国高等学校サッカー選手権大会～
新座片山FCが初優勝
- 2…年頭インタビュー
～佐々木則夫・なでしこジャパン監督に聞く
～ビーチサッカー日本代表・河原塚毅選手に聞く
- 4…東北3県招待試合を開催
～第5回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会～
- 5…「いざ、関東へ」～バイオリン川越&平成国際大学
- 6…大会記録
- 12…インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和 1-21-18 雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/ (年間購読料 1500円)

浦和東、残念。2回戦で散る

12月30日、第90回全国高等学校サッカー選手権大会が開幕し、翌日から関東各地において熱戦が繰り広げられた。地元代表・浦和東は、31日に1回戦、那覇西高校と対戦し、5-0で初戦を大勝で飾った。前半は0-0だったものの、後半1分に鄒(そう)龍輝(芝原サッカー少年団→さいたま・三室中)が先制点を決めて主導権を握ると、菊池将太(敬愛ラッフィナート→鴻巣・赤見台中)が2点目、菅原悠平(西武ウィングス→1FC川越水上公園)が3点目と加点し、最終的には菊池がハットトリックを達成して、埼玉スタジアムに大歓声が響いた。



1回戦 浦和東 vs 那覇西 ※鄒の先制点

～第90回全国高等学校サッカー選手権大会～

続く2回戦は、結果的にベスト4に入った大分高校とぶつかった。前半、先制されながらも24分に菊池のゴールで追いついて折り返したが、後半に2失点してしまい、涙を飲んだ。大分の早く厳しいプレスと、縦パスの速さに戸惑い、浦和東のラインが全体的に間延びをしてしまったことで、選手一人ひとりが孤立し、チームとしての良さが消されてしまった。相手の「縦」に対しては、「幅」を使ってゲームを落ち着かせれば、また違った展開になっていたのではないだろうか。残念な敗戦だった。

※優勝は市立船橋(千葉)。9年ぶり5回目。



2回戦 浦和東 vs 大分

新座片山FCが初優勝

～第5回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会～

12月23日、埼玉スタジアムにおいて、埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会の準決勝と決勝が行われた。

準決勝では、新座片山と1FC川越水上公園が対戦し、6-2で新座片山が勝利して決勝に進んだ。もう一方は江南南サッカー少年団が前回優勝のレジスタFCを2-0で破り、決勝に挑んだ。決勝戦は、両チームともに積極的な試合を展開し、2-1で新座片山が勝利し、初優勝に輝いた。

ベスト4に残ったチームは、県内東西南北それぞれのトップチ



決勝戦 新座片山FC vs 江南南サッカー少年団

ームであり、どこが優勝してもおかしくない力を持っていた。結果は結果だが、選手としてはまだまだ通過点にしか過ぎない。この結果を励みに、3種年代で飛躍してほしい。

また、合わせてJFAキッズエリートマッチU-10、ミニサッカーゲーム、写真展なども同時開催され、多くの方々に喜んでいただけた。各スポンサーの皆様を始め、役員、関係者の皆様、ありがとうございました。



初優勝の新座片山FC

年頭インタビュー

「もっとジュニアユースのチームを」

～佐々木則夫・なでしこジャパン監督に聞く

NTT 関東時代から選手、監督として、大宮アルディージャ時代はユース監督などを歴任させていただきに、県内でも多くの方々に知られている佐々木則夫さん。現在は、「なでしこジャパン監督」として、女子ワールドカップで優勝という快挙を成し遂げ、いちやく“時の人”となった。埼玉の女子にエールをいただいた。

女子サッカー発展のために

— 女子ワールドカップ優勝、おめでとうございます。佐々木さんを取り巻く状況というのは、大きく変わったのではないですか。

「ありがとうございます。でも、本質的なものは変わっていませんからね(笑)。

女子サッカーというのは、まだまだ可能性があると思っていますし、やらなきゃいけないことがたくさんあると思っています。入り口のところ、底辺のところ、ジュニアユースのところ……。ジュニアユースのところは、本気になったからレッズが日本になるんですよ。対抗するチームがなかなか出て来ないですからね。全国各地に練習環境が整っていて、地域のベースとなるチームがどんどんできれば、もっともっとベースアップした選手が出てくると思っています。

ユース年代も、日本はU-17、20とアジアでナンバーワンとなって世界大会に行けるレベルなんです。それをもうちょっとベースを構築できれば、底辺が広がっていくのだと思います。トップのアスリートだけができるのではなくて、やはりジュニア年代でもジュニアユース年代でも、サッカーという競技から学ぶものはたくさんあると思うのです。ですから、ワールドカップ優勝をいい機会にして、少女の育成などにつなげて行ければと思っています」

— 結果は出したけれど、まだまだ過渡期であるという認識なのですね。

「この機会にがんばらないといけないと思っています。本当是北京(オリンピック)でベスト4に入って『がんばらない』と思ったのですが、まだまだマスメディアも動いてくれなかったですよ。逆に言うと、JFAも後押しをして『がんばろうか』という勢いまでは無かったです。『じゃあ、優勝しよう』と。

今、いろいろな意味で発信するということは——我々がしなかったら、選手がしなかったら、誰が発信するのか？ JFAも、協会が女子の管轄の一つでしかない。それだったら、監督が選手

がさまざまな形で『女子サッカーって、こんなに可能性があるんだ』とか伝え、メディアなどにも出ていくこと。少女の年代はそういうところを見てくれるのです。

この機会を活かして、女子サッカーが発展してほしいのです。なでしこリーグのチームは企業からのスポンサーを受けて、各地域にジュニアユースのチームを作ってくれるでしょうから、そのチームを地域の企業がさらにサポートしてくれるようにならないとなかなか運営できないと思うのです」

— まだ、女子サッカーはエリート中のエリートが各年代でやっているだけだということですね。

「そうなんです。だから、もっとサッカーをしながら、触れながら多くの子どもたちが楽しんでほしいのです。コアなサポーターができてこそ、発展すると思っています。しかし、現在はブーム。INAC神戸が新潟に遠征すると言って、どれだけの人が神戸から新潟に行くのか？ ホームでも人数は変わらない。こういうコアなサポーターをいかに増やしていくかは、本質的なことを含めて、もっと地道な活動が大事だと感じていますし、我々がピッチ外でそういうサポートをすることは責務だと思っているんですよ」

— それにしても、すごい露出です。

「でも、それはそのうち薄らいでいきますよ。多方面から表彰していただきました。埼玉県からも県、さいたま市、川口市からいただきました。熊谷からはもらっていないんですよ。今度の全日本女子の準決勝のとき、『もらっていないんですけど』と言ってみようと思っています(笑)」

埼玉であれば、できる

— さて、全国的に見れば埼玉県は女子サッカーに関心を持っている県だと思っています。何か要望、アドバイスをいただけますか。

「高校女子のチームが増えている中、やはりジュニアユースの年代でしょうね。ジュニアは少女チームでも熱心にやっていますし、少年団の中でも女の子が多くがんばっています。その受け皿のラインをうまく構築してほしいですね。我々としてやらなければいけない、チーム指導ということです。例えば、中学の部活で平日は男子と一緒にやって、週末は地域の子が集まったチームで活動するとか。レッズだけに頼ることなく、そういうチームの輩出、サッカーをできる場を作ってあげていかなくてはならないと思いますね」

— 近年、埼玉県内では少女のチームに登録している女の子よりも、少年団に登録している女の子の方が増えてきています。また、4種リーグを見ていても「いいな」と思う選手が女の子、ということが多くなっています。



佐々木則夫

(ささき・のりお)

1958年山形県出身。
川口市芝中→帝京高校→明治大学→NTT関東。当時旧JFLだったNTT関東で監督、大宮アルディージャの初代監督でもある。現在、なでしこジャパン監督。さいたま市在住。

**FIFA2011
女子最優秀監督賞受賞**

「そうなんですか。であれば、そういう女の子たちを集めて、地域でチームとして活動してくれるといいですね」

— そこで重要なのが指導者、人ですね。

「そうですね。指導者の熱というか、知恵ですよね。我々も今、いろいろな工夫を発信しています。それはやらなきゃいけないでしょうね。その少女年代の盛り上がりとジュニアユースの年代をどう絡ませていくかが課題でしょう」

— そういうことができることが、もっと多くの埼玉県産の子どもたちが日本代表に呼んでもらえることになると考えています。

「高校は数があるのだから、高校の先生がもっとジュニアユースの年代に働きかけてもらいたいですね。ジュニアの人たちも、そこに絡んでもらいたいですね。」

JFAでも、文部科学省と一緒にどうすればいいのかと議論しているところですよ。以前はジュニアユースのチームを作ったら補助金を出すとか、指導者を派遣するとかやっていましたけど。またその年代の大会を選抜チームでやっていたのを、単独チームでの参加にしたりとやっていたんですね。しかし、安定したチームづくりができていとかというと、まだまだなんです。

埼玉であれば、もっとパワーを出せば絶対できると思います。サッカーに熱い人はたくさんいらっしゃいます。その人たちが、もっと女子に向けてくれれば、なでしこジャパンで活躍してくれる選手を、さらには海外で活躍できる選手を輩出できると思うんですよ。今も、各年代を見ていても何人かは出てきていますが、“Made in 埼玉”の選手をもっと輩出してほしいですね。期待しています」

— 2012年は、ロンドンオリンピックを楽しみにしています。ありがとうございました。

「ビーチサッカーだと、サッカーが上手い人でもうまいかないので、ゲームになるんですよ」 ～ビーチサッカー日本代表・河原塚毅選手に聞く

ビーチサッカー日本代表に、埼玉県出身の選手がいる。それもキャプテンであり、一時は日本代表監督もしていた—という話を聞いて、数年。ようやく昨年、河原塚選手に会うことができた。海無し県にあって、なぜビーチサッカーの選手をしているのか？ などという素朴な疑問を持ちつつ、沖縄は北谷でインタビューを行った。

ボリビアから逆輸入

— まず、サッカーとの出会いを聞かせてください。

「生まれは上尾で、サッカーを始めたのは中学、大石中の部活でした。そこから上尾南高校に進学してサッカーを続けましたが、中、高と県大会に出たことがないのが自慢です(笑)。

高校卒業の年が、92年のナビスコカップがあった年でした。いよいよプロが始まるという中で、自分もプロでプレーしたいと思い、まずは大学に行こうと思いました。普通に受験し、一浪してもダメで関東リーグの九曜クラブ(現在、東京都2部リーグ)でプレーしながら思いついたのが、ボリビアへの留学でした。

ブラジルも考えましたが、日本人がとても多いものですから、誰もいないところへ行き、実績をつくろうと思ったのです。ボリビアでは、2部のチームの一員として試合に出ていました。その新聞記事をアルディージャとアルビレックスに送ったところ、アルビレックスのセレクションに呼んでいただき、99年、ちょうどJ2に加わったアルビレックスに入ることになったんです」

— 夢を叶えたわけですね。

「スピードはチームの中で一番速かったんですね。しかし、FWなのにボールが収まらないんです。永井さん(良和氏・当時監督)から『ボールを止められたら、すごい選手になるのになあ』と言われましたね。

あとはJリーガーになることが目標になっていて、どうやってその中で生き残るかまでイメージできなかったんですね。そこにいることに満足してしまったわけではないのですが、ハンタリーさは無かったですね。そこは後悔しているところです。だから、試合に出られないのは自分のせいではなく、監督のせいだと他人のせいにしていたんですよ。もし、過去に戻れるならば、ここに帰って、もう一度やってみたいという思いはあります。



河原塚 毅

(かわはらづか・たけし)

1975年上尾市生まれ。
現ビーチサッカー日本代表。
ソマブライア代表・監督・選手。
(<http://solmarpraia.com/>)
沖縄県在住

結果的にクビになり、『どこかないか』と探したのが、『沖縄かりゆしFC』でした。すでに知人が入っていたことと、当時ラモスさんがTDをされていたことで決めました。でも2003年に解散してしまったんです。翌年、立ち上がったFC琉球に入りましたが、また県3部からのスタートで、モチベーションが下がってききましたね……もう28歳でしたから。それで1年いて、サッカーから離れたんです。というか、急に考え出したんです。これから先のことを。ぼんやりと指導者になりたいと思ったんですね」

いきなり世界大会出場

— そこからビーチサッカーなのでしょうか。

「2000年にかりゆしへ移籍したとき、ラモスさんがビーチサッカーをしていたんです。当時のビーチサッカーは、またFIFAに属しておらず、でも日本代表がいて、世界大会があったんです。その年、ポルトガルで世界大会があるという話になって、かりゆしのメンバーで行くことになったんです。ラモスさんが普通に



『行くよ』って言うので(笑)。

いきなり世界大会でビーチサッカーに出会い、スタンドにいるひとたちはみんな水着で、音楽がガンガンかかって、ダンスもあって、エンターテインメントだったんですよ。スポーツとして楽しいなあと感じたんです。

もともと、そういうのがあって、琉球を辞めたとき、もう1人と一緒に2人でソマブライアを立ち上げたんです。2人でただ走って、パスしてというのがスタートでしたがやり始めたら、あとはどっぴりと浸っちゃって(笑)」

——何がそんなに河原塚さんを引き込んだのでしょうか。

「ビーチサッカーというのは、サッカー50%、まったく新しいスポーツとして50%という感じです。そこに伸びしろというか、可能性を感じたんです。また教えてくれる人はいませんから、自分たちで世界のビデオを見て学びました。これも面白かった要因です。未開の地というか、新たな発見が多かったんです。

さらに05年からFIFAの管轄となり、ワールドカップが開催されるようになりました。これで日本代表のユニフォームが着れるという喜びもあり、タイミングもよかったですね。その年のワールドカップでは、ラモスさんが監督でベスト4に入り、メディアにも大きく取り上げられて盛り上がった年でした。

これまでワールドカップは、05年から09年まで毎年あり、そこから隔年開催となり、昨年、6回目がありました。07年だけはアジア予選で右のすねを骨折して出場できませんでした。それもあって、08年のアジア予選は監督として、本大会にはプレーイングマネージャーとして参加したんです」

——そのときだけ、監督だったんですか。

「そうです。あとは選手としてですね。この2月に37歳になり

ますが、砂の上でプレーしているということもあり、ケガは少ないんです。まだできますね。FIFAのブラッター会長がブラジルのオリンピック(2016年)でビーチサッカーを正式種目にとってくれています。41歳になりますが、楽しみです(笑)」

目指すは全国リーグ発足

——まだまだ夢が続いていますね。さて、ビーチサッカーの魅力を伝えていただけますか。

「ビーチサッカーはフットサルよりもコートは広く、サッカーのフィールドよりは狭いところで5対5で行います。シュートシーンが多いので、ルールがわからない人でも楽しいと思います。だいたい30秒に1本はシュートがあって、1試合で80本程度でしょうか。オーバーヘッドは当たり前ですから、見ている人も楽しめるスポーツなんです。

交代は自由ですから、出て、行って帰ってと一往復して交代、というのもありなので、これも長くプレーできる理由だと思います。

大人向けのスクールもやっていますが、僕らも一緒にやっていますからね。サッカーだと上手い人とそうでない人の技術がはっきりしますが、ビーチサッカーだと、サッカーが上手い人でもうまいかなくなるので、ゲームになるんですよ(笑)。

全国リーグができれば、変わると思います。昨年のなでしこジャパンによって、女子サッカーの現場が劇的に変わってきています。彼女たちのがんばりは、僕たちに夢を与えてくれましたね」

——話は尽きませんが、最後に埼玉の皆さんにメッセージをお願いします。

「なかなか埼玉の皆さんは、ビーチサッカーをする環境がないと思います。関東だと千葉と湘南にありますので、ぜひ体験していただきたいと思います。見方が変わると思いますよ。また、沖縄にいらっしゃったときには、北谷のアラハビーチに来てください。僕らが練習をしています。声をかけてもらえたらうれしいですね。そして、一緒にやりましょう。ぜひ、遊びに来てください。よろしくお願いします」

——ありがとうございました。

東北3県（福島・宮城・岩手）招待試合を開催

～第5回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会～

SFAは、先の東日本大震災の被害に遭った福島県、宮城県、岩手県の東北3県からチームを招待し、埼玉スタジアムのメインピッチで県内のチームとの招待試合を開催しました。

- ・狭山台キッカーズ vs 岩瀬FC(福島県須賀川市)
- ・戸田南FCスポーツ少年団 vs U-12宮城県選抜
- ・GETかみたのスポーツ少年団 vs 岩手県沿岸選抜

決勝戦の後、スタジアム内のVIPルームにて「ティーパーティー」を開催し、子どもたち、指導者同士の交流を行いました。近い将来、東北の子どもたちが再び、埼玉スタジアムのピッチに立ってくれることを夢見ています。

伊藤 弥・福島県サッカー協会4種技術委員長

「レベルの高い埼玉のチームと試合ができてよかったと思います。福島は12月になると雪が降って、グラウンドが使えなくなるんですね。また、我々須賀川は、原発の影響で外で練習ができず、中でやっていたものですから、いい環境でサッカーを

させていただき、ありがとうございました。今回は6年生だけを連れて来たのですが、いい思い出になったと思います。しっかりと技術を持ち、しっかりと走るというサッカーを経験できたので、中学校に向けていいステップになったと思います。

今日いただいたボールに『10年後に日本代表として会おう』という埼玉の子どもたちからのメッセージがありました。うれしかったですね」

加藤栄徳・宮城県サッカー協会4種委員長

「このようなスタジアム、芝生のピッチでプレーさせていただいたことは、子どもたちにとって大変いい思い出になりますし、サッカーを続けていく上でいいきっかけになったと思います。感謝しております。

震災から間もない頃には、学校へ行くことも親たちとの生活も滞ってしまいました。子どもたちも精神的にショックを受けていました。これからどう生きるか、どう生活するのかとみんな思

っていましたし、今も仮設住宅に住んでいる子どもたちもいます。その中でサッカーできるというのはありがたいことなんだというのを学んだと思います。逆に、サッカーできる命を与えていただいたのはありがたいこと。今回はありがとうございました」

田中正芳・大船渡三陸フットボールクラブ代表

「こういうスタジアムで試合をさせていただけることは夢のように、子どもたちは来る前から興奮してしまて（笑）、笑顔が増えたなという感じがします。子どもたちの親戚で亡くなった人たちが、家を流された人たちがいます。子どもたちの笑顔を取り戻すためにも、私たち指導者が『なんとかサッカーをやろう』と震災からちょうど1ヵ月のところから蹴り始めて、なんとかここまで来ました。地元の中でも中心の子どもたちです。こういう場がもっと与えられたら、上を目指そうかなと思うのではないでし

ょうか。目が違っていますね。今後とも続けていただければ、子どもたちもやる気になります。ありがたいです。本当にありがとうございました」



※ NHK さいたま放送局 HP に掲載
<http://www.nhk.or.jp/saitama/kizuna/soccer>

「いざ、関東へ」 ～パイオニア川越&平成国際大学～

来春、埼玉から新たに関東リーグに社会人と大学から2チームが昇格することになりました。まずはそれぞれ関東リーグ2部での上位を目指し、さらに1部への昇格を期待しています。がんばってください。

パイオニア(株)川越事業所サッカー部 金澤政幸監督

「この度、私が生まれた1982年以来、30年ぶりに関東リーグへの復帰を果たすことができました。関係者の皆様、ありがとうございました。

ここ2、3年、私自身で関東大学、埼玉県大学リーグを見て歩き、必要なポジションの選手に声をかけてきました。会社からバックアップを約束していただいている現状を伝え、『一緒に上を目指して戦ってくれないか』とお願いしたところ、いい選手が集まってくれました。この『上を目指す』という目標を若い選手たちが共有してくれ、また実践してくれたことが、今回の昇格の大きな要因だと思っています。参入戦となった関東社会人大会では、誰もが泣きました。それほど昇格への思いは強かったのです。

秋の全国社会人大会に出場することができ、1回戦でJFLを目指すヴォルカ鹿児島に敗れましたが、手応えを感じるいいゲームをしたことは大きな自信となりました。今の自分たちに何ができて、できないかが明確になり、この課題に向けて選手たちが自主的に取り組んでくれたこともよかったことでした。

今年のシーズンの目標は関東1部を目指すと同時に、関東リーグに定着することです。そして全国社会人大会が大きな経験になったことから、コンスタントに全国と名の付く大会に出場できるよう努力していきたいと思っています。同時に、埼玉県代表として、模範となるチームになるよう努力して参ります。今後もご支援をよろしくお願い致します」



平成国際大学サッカー部 西川誠太監督

「5年前の監督就任時から、このチームから良い選手や良い指導者の輩出にとどまらず、サッカーマインドを持った良い人材

を社会に送り出したいと考え、そのためにも大学サッカーのトップレベルのステージに立つことを目標にして参りました。今回、関東大学リーグの2部に昇格することができましたが、まだまだ通過点だと思っています。ここまでの平成国際大学サッカー部の歴史に関わった皆様、支えてくださった皆様に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

目指すところとしては、平成国際大学サッカー部としてのブランド力をどう高めていくかと考えています。先輩である伝統校と同じことをしていても仕方ありません。埼玉・加須市で活動している我々の独自性をいかに出し、埼玉の子どもたち、さらには日本の子どもたちに『平成国際大学でサッカーをしたい』とってもらえるかが大事なことだと思っています。そのためには、我々の信念、考え方、フィロソフィーをピッチ内外で遺憾なく発揮し、見ていただけた方々に共感や感動を与えられるような独自のスタイルを持つことだと信じています。その意味で、自分たちのスタイルを信じて貫き通し、関東大学リーグ昇格という歴史を一から創ってくれた選手たちを本当に誇りに思います。現状でベースはだいぶ固まってきました。これからはそのクオリティをさらに高めていきたいです。そうすれば、関東大学リーグでも唯一の存在になれると思いますし、十分勝負できると確信しています。

今後は埼玉の大学サッカー、さらには1種を引っ張っていく存在として期待される、むしろ期待されなければダメだと思っています。その期待に期待以上のもので応えたいとも思っています。これからもよろしくお願い致します」



第66回国民体育大会「おいでませ! 山口国体」 サッカー少年男子

10月2日 おのだサッカー交流公園サッカー場

1回戦 青森県選抜 0-0 埼玉県選抜
4PK2

※優勝は、千葉県選抜(5年ぶり8度目)と静岡県選抜(7年ぶり17度目)の両県

大会記録●県内大会

1種・社会人

埼玉県社会人リーグ1部 全日程終了

●後期上位リーグ

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	坂戸シティー	9	2	1	37	20	+17	29
2	パイオニア川越	9	0	3	36	18	+18	27
3	ルミノソフ狭山	5	2	5	20	14	+6	17
4	飯能セボジータス	4	3	5	28	23	+5	15
5	越谷FC	2	5	5	17	23	-6	11

●後期下位リーグ

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
6	浦和レッズアマチュア	5	2	4	24	18	+6	17
7	狭山ラトルズ	4	1	6	24	29	-5	13
8	FC西武台	3	1	7	17	29	-12	10
9	武南クラブ	2	2	7	14	37	-23	8

大学

埼玉県大学リーグ1部

●最終節終了時点

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	東京国際大学	11	2	1	37	5	+32	35
2	平成国際大学	10	2	2	33	11	+22	32
3	尚美学園大学	6	2	6	18	18	±0	20
4	埼玉工業大学	6	2	6	20	26	-6	20
5	埼玉大学	5	4	5	17	25	-9	19
6	文教大学	4	3	7	16	14	+2	15
7	共栄大学	2	5	7	14	32	-18	11
8	獨協大学	1	2	11	11	34	-23	5



埼玉県大学リーグ1部



埼玉U-18 S1リーグ

2種

平成23年度U-18埼玉県リーグ<S1リーグ>

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	正智深谷	7	0	0	34	4	+30	21
2	埼玉栄	6	0	1	26	10	+16	18
3	市立浦和	3	1	3	12	11	+1	10
4	川越南	3	1	3	10	11	-1	10
5	大宮東	3	0	4	13	19	-6	9
6	浦和南	1	2	4	8	17	-9	5
7	大宮南	1	2	4	8	22	-14	5
8	飯能南	0	2	5	7	24	-17	2

※正智深谷がプリンスリーグ関東2部リーグ参入戦に出場。

平成23年度U-16埼玉県リーグ<TOP1リーグ>

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	浦和レッズ	8	1	1	37	10	+27	25
2	西武台	7	2	1	29	6	+23	23
3	武南	7	2	1	27	8	+19	23
4	正智深谷	6	3	1	20	8	+12	21

5	大宮アルディージャ	5	3	2	19	5	+14	18
6	埼玉栄	5	0	5	19	18	+1	15
7	川越南	4	1	5	14	18	-4	13
8	成徳深谷	3	1	6	12	22	-10	10
9	浦和東	1	2	7	10	24	-14	5
10	武蔵越生	1	1	8	6	26	-20	4
11	大宮東	0	0	10	6	27	-21	0

平成22年度全国高等学校サッカー選手権大会 兼
埼玉県高校選手権2次予選 決勝トーナメント

11月6日～21日 埼玉スタジアム他

浦和東	3	2-0	大宮東	2	2-0	大宮東
大宮南	0	1-0	本庄第一	0	0-0	本庄第一
正智深谷	1	2-1	聖望学園	0	0-1	聖望学園
埼玉栄	0	1-0	市立浦和	3	0-2	市立浦和
花咲徳栄	1	1-0	西武台	1	0-0	西武台
川口北	2	0-0	昌平	0	0-0	昌平
深谷第一	0	0-0	南稜	0	0-1	南稜
伊奈学園総合	4	0-2	武南	6	0-1	武南

※浦和東は6年ぶり5度目の優勝。



決勝 浦和東 vs 武南

●総評 平成23年度 第90回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会

埼玉県高体連サッカー専門部技術委員 高橋 智（深谷高校）

第1・第2シードの両校が順当に駒を進めた決勝戦は、圧倒的な運動量を誇る浦和東高校が中盤を支配し、見事な逆転勝利で全国大会へのキップを手に入れた。大会を通じエースとして活躍した⑩菊池は抜群の身体能力と勝負強さで勝利に貢献した。ダブルボランチを組む⑥有野⑨大澤は素早い攻守の切り替えて、自陣ゴール前から相手ゴール前まで縦横無尽に走り回り、ピンチの芽を摘むとともにチャンスメイクし、さらにセカンドボールを拾い続けた。守備面では①平野④小島を中心に相手の攻撃を跳ね返し、決勝トーナメントの4試合を通じて安定した試合運びで戦い抜いた。そして、決勝トーナメントの一番を含め、随所に試合巧者ぶりを発揮した野崎監督の手腕は見事であった。

持ち前のパスワークにツインタワーの力強さを得た武南高校に、死角は無いように思われた。他を圧倒する攻撃力とポゼッションで、決勝までの3試合を無失点で勝ち上がり、難敵西武台高校、市立浦和高校という、過去3年間の代表チームを退けての決勝戦であったが、試合後の大山監督の「普段通りのサッカーが出来なかったことが結果に現れてしまった」というコメントにすべてが現れていたと思われる。⑩田代④的場の両センターバックは高さに加え足下の技術にも長け、高校サッカー界を代表するDFといえる。1年生ながら名門チームのボランチとして出場した⑩鈴木は、たぐいまれなサッカーセンスと技術で存在感を示していた。全国大会での「紫旋風」を再び期待していたファンも多かったであろうだけに、残念な結果であった。

関東大会に出場した市立浦和高校と、1次予選から勝ち上がり勝負強さを発揮した川口北高校の戦いぶりは見事であった。ともにFW⑩番とDF④番が攻守のキーマンとなり、攻撃的で魅力あるチームであった。市立浦和は伝統になりつつある3トップで両サイドを崩し、川口北は2トップを起点に両サイドからアタックを仕掛け、相手ゴールへと迫った。この経験をもとに、来年以降両チームとも、県代表の座を目指して戦って欲しい。

今大会のトピックスの1つとして、センターラインに能力の高い選手が揃ったことがあげられる。優秀選手に選出されたDF6名中5名がセンターバック、MF7名中5名がボランチ、1名がトップ下、FWは3名ともセンターフォワードであった。DFラインからのロングフォワードボールを用い、相手コートでゲームを進めることはトーナメントの常套手段ではあるが、結果的に味方同士の距離が遠くなり、サイドバックの攻撃参加が少なかったことは残念である。また、武南高校⑩鈴木に代表される1年生ボランチの活躍も目立った。西武台④川又、市立浦和⑩稲辺など、強豪校の将来を担う楽しみな選手である。

90回という長い歴史を誇る全国高校選手権大会であるが、84回大会以来6年連続で初優勝の高校で幕を閉じている。浦和東高校も国立競技場を目指し、埼玉県代表としては30年ぶりの、そして同校にとっては初めての全国優勝を勝ち取って欲しい。

3種

埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	クマガヤSC	8	1	0	36	7	+29	25
2	アレグレ	7	1	1	19	10	+9	22
3	坂戸ディプロマツツ	4	3	2	18	13	+5	15
4	大宮FC	4	3	2	18	15	+3	15
5	フェスタ	4	2	3	14	12	+2	14
6	KASUKABE	4	1	4	15	18	-3	13
7	豊春中	2	1	6	15	21	-6	7
8	武南ジュニア	2	1	6	8	19	-11	7
9	カムイジュニア	1	2	6	3	14	-11	5
10	三郷ジュニア	1	1	7	3	20	-17	4

埼玉新聞社旗争奪第20回埼玉県ユース(U-15)サッカー選手権大会
兼 高円宮杯第23回全日本ユース(U-15)サッカー選手権埼玉県予選大会
8月27日～10月16日 熊谷スポーツ文化公園他

●決勝トーナメント

大宮アルディージャユース	1	
HANフットボールクラブ	2	0-3
東松山ペレニア	0	
GRANDE	2	1-0
武南ジュニア	1	
FC・FESTAトレノ	1	2
浦和レッズユース	0	

※優勝したFC・FESTAトレノと準優勝した大宮アルディージャジュニアユースは、関東大会に出場する。

平成23年度新人体育大会 兼 第24回県民総合体育大会 兼 第21回テレビ埼玉旗争奪サッカー大会

11月4日～20日 埼玉スタジアム2002他

飯能第一	2		0	富士見富士見台
狭山堀兼	1	1	2	熊谷妻沼東
川口八幡木	0	6	5	越谷新栄
さいたま東浦和	3		3	さいたま尾間木
東松山東	0	1-1	1	立教新座
伊奈小針	2	2	0	栗橋東
川口戸塚	3	1	2	日高麗川
さいたま田島	2		5	さいたま大原

※さいたま大原中が優勝



決勝 さいたま大原 vs さいたま東浦和

クラブ

第21回埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会

10月1日～11月23日 熊谷スポーツ文化公園他

大宮アルディージャ	2		1	浦和レッズ
レジェンド熊谷	0	2	2	成立ゼブラ
KASUKABE	1	2	0	カムイJr
アレグレ	2	1	3	ペレニア
プレジール	1	2	5	エステレーラ
フェスタ	4	1	4	武南Jr
ブルーダー	1	3	2	コルージャ
クマガヤSC	3		0	クラブ与野

※優勝はクマガヤサッカークラブ。

4種

第40回埼玉県サッカー少年団中央大会

11月6日～20日 埼玉スタジアム第2グラウンド他

FCバンビーノ	0		0	大袋FC
江南南	3	2	2	長鶴
浦和尾間木	2	0	3	北浦和
東松山ペレニアFC・ジュニア	0	3	1	越谷FCジュニア
戸塚FCジュニア	3	3	1	上柴西
越谷サンシン	1	2	0	川越ひまわりSC
三郷FCジュニア	3	0	6	春日部幸松
浦和中尾	1		5	新座片山FC

※優勝は新座片山FC



決勝 新座片山FC vs 戸塚FCジュニア

女子

埼玉県女子1部リーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	大東文化大学	13	1	0	65	11	+54	40
2	エルフェンマリ	10	0	4	50	27	+23	30
3	上福岡女子	9	2	3	50	22	+28	29
4	花咲徳栄高校	9	1	4	33	26	+7	28
5	大宮FCエンジェルス05	5	3	6	27	20	+7	18
6	戸木南ボンバーズFC	3	1	10	19	44	-25	10
7	FC.JAM-G	2	1	11	14	59	-45	7
8	白岡SCL U-15	0	1	13	6	55	-49	1

第4回会長杯 埼玉県女子サッカー大会 兼 第33回埼玉県女子サッカー選手権大会

12月18日・23日 熊谷スポーツ文化公園補助他

武蔵丘短期大学	7		1	浦和レッズレディースユース
(関東女子リーグ3位)				
大東文化大学	1	1	2	
(県大会・リーグ1部優勝)				
浦和レッズレディースユース	2	2	1	
(関東女子リーグ4位)				
尚美学園大学	1			
(関東女子リーグ7位)				

※浦和レッズレディースユースが優勝



決勝 浦和レッズレディースユース vs 武蔵丘短期大学

平成23年度埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会

8月30日～9月18日 東松山陸上競技場他

●決勝トーナメント

本庄第一	2		1	久喜
山村学園	3	1	0	和光国際
淑徳与野	0	2	1	北本
狭山ヶ丘	0	1	1	川口総合
入間向陽	5	3	2	埼玉栄
浦和西	1	3	1	庄和
浦和一女	0	1	0	市立浦和
大宮南	0	1	0	熊谷女子
埼玉平成	5	2	2	花咲徳栄

※優勝した本庄第一以下、上位6位は関東大会に出場する。



埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会 決勝 本庄第一 vs 久喜

埼玉県女子U-15リーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	大宮FC・05	9	1	1	30	3	+27	28
2	エルフェンマリ	8	3	0	35	11	+24	27
3	大宮FC・09	7	3	1	20	13	+7	24
4	戸木南ボンバーズ	5	4	2	16	7	+9	19
5	SEフィリアFC	5	1	5	11	19	-8	16
6	ホワイトスター	4	2	5	31	24	+7	14
7	河内ジュベニール	4	1	6	17	18	-1	13
8	FC熊谷プレシオッサ	3	2	6	21	17	+4	11
9	浦和ラッキーズ	3	2	6	14	25	-11	11
10	白岡SCL.U-15	2	4	5	5	13	-8	10
11	大宮FCエンジェルス	3	1	7	8	24	-16	10
12	越谷レディーズF	1	0	10	3	37	-34	3

第23回埼玉県少女サッカー大会県中央大会 兼

第24回関東少女サッカー大会埼玉県予選

10月15日、22日 県協会東松山サッカー場他

●決勝トーナメント

熊谷プレシオッサ (Aブロック1位)	0-5	戸木南ボンバーズ
戸木南ボンバーズ (Bブロック1位)	6-0	和光ベレーザ (Cブロック1位)
和光ベレーザ (Cブロック1位)	0-2	TSガールズ (Dブロック1位)
TSガールズ (Dブロック1位)	4-0	戸木南ボンバーズ

※優勝した戸木南ボンバーズ(2年振り9回目)と準優勝したTSガールズは、関東大会に出場する

シニア

シニア40南部リーグ

●8月28日現在

順位	チーム名	勝点	得失差
1	所沢バッカーズ	39	+26
2	越谷シニアサッカークラブ	37	+23
3	川口シニアフットボールクラブ	30	+13
4	新明サッカークラブ	30	+12
5	コイコック	28	+13
6	FC浦和シニア	28	+7
7	パルスフットボールクラブ	26	+9
8	NTTシニア	24	+1
9	川越シニアサッカークラブ	23	-1
10	戸田シニアサッカークラブ	20	-11
11	鴻巣UNITED	19	-17
12	東春'72シニア	18	-6
13	与野シニアフットボールクラブ	18	-10
14	蕨シニアサッカークラブ	14	-12
15	セルフフィッシュ	11	-11
16	大宮シニアフットボールクラブ	11	-12
17	八潮シニア	3	-24

シニア40北部リーグ

●7月31日現在

順位	チーム名	勝点	得失差
1	東松山オールドパワーズ	43	+49
2	VAMOS鳩山	33	+29
3	本庄アイベックス	32	+19
4	秩父四十雀サッカークラブ	30	+14
5	熊谷ブーメラン	29	+9
6	クマガヤSC	26	+2
7	児玉四十雀サッカークラブ	22	+6
8	セントラル蹴毬団	18	-4
9	深谷SFCフェニックス	17	-2
10	行田グレイテッド	15	-5
11	小鹿野パンビニョナイツ	14	-7
12	東松山ベレーニア	11	-16
13	吉見エスカラFC	11	-19
14	小川スパースター・ユナイテッド	11	-21
15	寄居四十雀サッカークラブ	10	-38
16	ジョイファーストめめ	8	-16

シニア50サッカーリーグ1部

●12月26日時点

順位	チーム名	勝点	得失差
1	NTTシニア50	28	+20
2	所沢バッカーズ	26	+18
3	パルスFC	26	+13
4	市高クラブ	17	+1
5	与野シニアFC	16	-6
6	東松山ベレーニア	18	±0
7	深谷SFCフェニックス	14	-9
8	川口シニアFC	13	-6
9	川越シニアFC	11	-12
10	鴻巣ユナイテッド	7	-19

シニア50サッカーリーグ2部

●12月26日時点

順位	チーム名	勝点	得失差
1	本庄アイベックス	32	+20
2	東松山オールドパワーズ	31	+25
3	東春'72シニア	24	+16
4	FC浦和シニア	19	-4
5	越谷シニアSC	14	-1
6	熊谷ブーメラン	17	-1
7	蕨シニアSC	16	+6
8	熊谷セントラル蹴毬団	13	-8
9	大宮シニアFC	11	-11
10	戸田シニアSC	3	-21

シニア60リーグ ●11月13日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	サウスフレンズ	20	6	2	2	11	5	+6
2	ボラリス	18	5	3	2	8	4	+4
3	パルス・US	17	5	2	3	15	7	+8
4	FSC	14	4	2	4	15	5	+10
5	浦所チーム	14	3	5	2	9	5	+4
6	KMO	0	0	0	10	1	33	-32

65リーグ ●最終結果

サクラ 9勝1分0敗

ケヤキ 0勝1分9敗

ロイヤルリーグ ●最終結果

サクラ 8勝1分1敗

ケヤキ 1勝1分8敗

2011年埼玉県総合体育大会(シニアの部) 兼 日本スポーツマスターズ(O-40)サッカー競技埼玉県予選

9月4日~11月20日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他

所沢バッカーズ	1-0	東松山OP
バモス鳩ヶ谷	3-0	新明SC
コイコック	1-1	パルス
東春シニア'72	3-0	本庄アイベックス
熊谷ブーメラン	0-0	NTT
セルフフィッシュ	0-0	与野シニア
行田GTD	0-2	クマガヤSC
川口シニア	2-1	大宮シニア
		東松山OP

※優勝は東松山OP

第9回埼玉県シニアサッカー選手権大会(O-50) 兼 第11回全国シニア関東予選埼玉県予選

9月25日~11月20日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他

NTT	3-0	パルス
与野	0-1	越谷
ベレーニア	2-1	川越
本庄	1-1	大宮
セントラル	0-0	東春
蕨	1-0	東松山OP
川口	1-3	FC浦和
市高	3-5	所沢

※優勝は所沢バッカーズ

フットサル

第11回埼玉県フットサルリーグ1部 ●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	IMPERIO	9	0	0	44	16	+28	27
2	烏天狗	6	1	2	49	38	+11	19
3	pal'u:wo	5	2	2	36	34	+2	17
4	ロクFC	5	1	3	40	27	+13	16
5	マカプ〜	3	2	4	31	33	-2	11
6	FFC Estrela	3	2	4	32	38	-6	11
7	Mf	3	1	5	22	36	-14	10
8	坂戸龍門	3	0	6	31	36	-5	9
9	THOMAS FC	3	0	6	27	35	-8	9
10	ra'pido	0	1	8	24	43	-19	1

第8回埼玉県女子フットサルリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	SAICOLO	7	0	0	60	2	+58	21
2	dolce da donna	6	0	1	33	12	+21	18
3	武蔵浦和FC	4	1	2	30	19	+11	13
4	FUKAYA	3	2	2	14	15	-1	11
5	り〜ずなぶる	1	2	3	4	17	-13	5
6	chechio	1	2	4	5	20	-15	5
7	GRANDE	1	1	5	10	35	-25	4
8	I.F.C/ems	0	0	6	3	39	-36	0

PUMA CUP 2012 全日本フットサル選手権大会埼玉県大会

10月1日～11月5日 富士見市総合体育館他

Artista埼玉	5	6	3	3	lwatsuki FC/tzk
LIBELULA	1	0	0	0	Collection
Mf	5	0	4	4	烏天狗
ra'pido	1	0	0	3	所沢ブリーフ
THOMAS FC	4	2	2	2	pal:wo
坂戸龍門	4	2	2	5	FFC Estrela
AMX	2	2	4	3	F&F
IMPERIO	5	2	1	1	ロクFC

※優勝した lwatsuki FC/tzk は関東大会に出場。

第17回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

10月10日・10月15日 くまがやドーム体育館他

●決勝トーナメント

フォルチFC D	4	1	1	FC BUBBLE As
FC bUBBLE Asaka Jr.	1	0	0	
FC LOS HERMANOS	3	4	4	
フォルチFC A	2	0	0	
PAT/U-15	6	2	4	
FC BUBBLE As	7	1	0	
Futbol Club Cano B	1	2	2	
Futbol Club Cano A	2	0	0	

※優勝した BUBBLE As は関東大会に出場。

バーモントカップ2011

第21回全日本少年フットサル大会埼玉県大会

10月10日・10月15日 くまがやドーム他

●決勝トーナメント

江南南サッカー少年団	6	6	5	江南南サッカー少年団
Futbol Club Cano A	0	0	2	
東松山ペレーニア	3	3	3	
FCクラッキ	3	3	0	
ペルナル SC	0	0	1	
Mf/U-12	0	0	0	
川越プロス TOP	2	3	3	
malva saitama fc	3	0	0	

※優勝した江南南サッカー少年団は関東大会に出場。

大会記録●県外大会

1種・社会人

関東社会人リーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ	12	1	1	34	8	+26	37
2	さいたまSC	9	0	5	29	26	+3	27
3	流通経済大学FC	8	1	5	33	16	+17	25
4	FC KOREA	7	1	6	25	22	+3	22
5	tonan前橋	5	2	7	20	26	-6	17
6	ヴェルフェたかはら那須	5	2	7	21	29	-8	17
7	神奈川県教員SC	4	0	10	22	32	-10	12
8	東邦チタニウムサッカー部	2	1	11	10	35	-25	7

関東サッカーリーグ1部表彰

- 得点王 杉下聖哉 (さいたまSC) 9得点
- アシスト王 大野恭平 (さいたまSC) 8アシスト
- ベストイレブン MF 大野恭平 (さいたまSC)
FW 杉下聖哉 (さいたまSC)



さいたまSC vs ヴェルフェたかはら那須

関東社会人リーグ2部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	SC相模原	10	1	3	40	12	+28	31
2	エリースFC東京	9	2	3	30	16	+14	29
3	クラブ・ドラゴンズ	9	1	4	23	14	+9	28
4	横浜猛蹴	8	0	6	29	24	+5	24
5	日立ビルシステムサッカー部	5	1	8	15	26	-11	16
6	東京海上日動火災保険	5	0	9	19	29	-10	15
7	海上自衛隊厚木基地マーカス	3	3	8	16	29	-13	12
8	ACアルマレッザ	2	2	10	14	36	-22	8

第18回全国クラブチームサッカー選手権大会関東大会

9月17日～19日 熊谷スポーツ文化公園他

準決勝 与野蹴魂会 1-0 フーリガン(茨城県)

決勝 与野蹴魂会 1-3 慶應BRB

※与野蹴魂会は全国大会に出場。

第18回全国クラブチームサッカー選手権大会

10月29日～11月1日 市原臨海球技場他

1回戦 与野蹴魂会 2-2 浜田FCコスモス (10PK9)

準々決勝 与野蹴魂会 1-3 名古屋サッカークラブ

第47回全国社会人サッカー選手権大会

10月14日～19日 岐阜・浅中陸上競技場他

1回戦 パイオニア川越 0-1 ヴォルカ鹿児島

※優勝は東京23フットボールクラブ

第45回関東社会人サッカー大会

11月12日～27日 那須スポーツパークサッカー場他

1回戦 東京23FC 4-3 飯能セボジータス

足利御厨UNITED 0-2 ホンダルミノッソ狭山

坂戸シティフットボールクラブ 0-2 日本工学院Fマリノス

韮崎アストロスFC 1-4 パイオニア川越

2回戦 ホンダルミノッソ狭山 2-8 三菱養和サッカークラブ

tonann前橋サテライト 0-2 パイオニア川越

準決勝 日本工学院F・マリノス 0-1 パイオニア川越

決勝 浦安ジュニアサッカークラブ 3-0 パイオニア川越



準決勝 パイオニア川越 vs 日本工学院F・マリノス

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プレミアリーグイースト ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	コンサドーレ札幌U-18	35	10	5	3	37	21	+16
2	東京ヴェルディユース	32	9	5	4	42	27	+15
3	清水エスパルスユース	32	9	5	4	41	36	+5
4	浦和レッズユース	28	9	1	8	36	26	+10
5	流経大付柏高校	27	8	3	7	35	32	+3
6	青森山田高校	25	7	4	7	33	31	+2
7	静岡学園高校	21	5	6	7	28	31	-3
8	三菱養和SCユース	17	4	5	9	17	34	-17
9	F C東京U-18	16	3	7	8	18	22	-4
10	尚志高校	15	4	3	11	20	47	-27

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プリンスリーグ関東 1部リーグ ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	鹿島アントラーズFCユース	39	12	3	3	37	16	+21
2	桐蔭学園高校	35	11	2	5	46	30	+16
3	前橋育英高校	32	10	2	6	40	28	+12
4	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	29	9	2	7	33	27	+6
5	横浜F・マリノスユース	26	7	5	6	34	28	+6
6	市立船橋高校	25	7	4	7	29	29	±0
7	桐光学園高校	25	7	4	7	25	29	-4
8	大宮アルディージャユース	24	7	3	8	30	31	-1
9	八千代高校	11	3	2	13	22	45	-23
10	成立学園中学・高校	9	2	3	13	20	53	-33

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プリンスリーグ関東 2部リーググループA ●全日程終了

順位	チーム	勝ち	勝	分	負	得点	失点	差
1	山梨学院大学附属高校	28	9	1	4	43	29	+14
2	湘南ベルマーレユース	27	8	3	3	27	14	+13
3	佐野日本大学高校	25	8	1	5	30	17	+13
4	西武台高校	20	5	5	4	22	17	+5
5	浦和東高校	18	5	3	6	20	24	-4
6	駒澤大学高校	16	5	1	8	25	31	-6
7	幕張総合高校	13	4	1	9	11	26	-15
8	水戸商業高校	13	4	1	9	21	41	-20

2部リーググループB ●全日程終了

順位	チーム	勝ち	勝	分	負	得点	失点	差
1	柏レイソルU-18	38	12	2	0	37	8	+29
2	川崎フロンターレU-18	27	8	3	3	25	14	+11
3	鹿島学園高校	21	6	3	5	20	23	-3
4	武南高校	19	6	1	7	24	28	-4
5	矢板中央高校	16	4	4	6	10	22	-12
6	麻布大学附属淵野辺高校	14	4	2	8	27	30	-3
7	桐生第一高校	13	3	4	7	13	20	-7
8	真岡高校	9	2	3	9	12	23	-11

女子 ブレナスなでしこリーグ ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	I神戸	42	16	13	3	0	49	8	+41
2	日テレ	35	16	11	2	3	37	11	+26
3	浦和	33	16	10	3	3	28	16	+12
4	湯郷ベル	28	16	8	4	4	33	21	+12
5	新潟L	22	16	6	4	6	33	25	+8
6	伊賀FC	16	16	5	1	10	18	26	-8
7	ジェフL	16	16	5	1	10	16	29	-13
8	AS狭山	10	16	3	1	12	21	53	-32
9	福岡AN	4	16	1	1	14	13	59	-46

第33回全日本女子サッカー選手権大会

12月3日～1月1日 国立競技場他

INAC神戸レオネッサ	1	0	2	1	0	7	アルビレックス新潟レディース
早稲田大学	0	0	2	0	0	0	鳳凰高等学校
ASエルフェン狭山FC	1	0	0	4	0	3	FC高梁吉備国際大学
福岡J・アンクラス	0	0	3	0	4	4	浦和レッドダイヤモンズレディース
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	2	0	0	1	0	2	伊賀フットボールクラブくノ一
愛媛FCレディース	0	0	1	0	0	0	JFAアカデミー福島
常盤木学園高等学校	1	2	1	0	0	0	日ノ本学園高等学校
岡山湯郷Belle	3	2	1	1	5	5	日テレ・ベレーザ

※優勝は INAC 神戸レオネッサ。

第17回 関東女子サッカーリーグ ●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	早稲田大学	13	0	1	53	9	+44	39
2	関東学園大学	10	2	2	25	7	+18	32
3	武蔵丘短期大学	7	1	6	30	27	+3	22
4	浦和レッズJr.Y	6	3	5	19	20	-1	21
5	日テレ・メニーナ	6	1	7	22	16	+6	19
6	FC PAF	6	0	8	14	32	-18	18
7	尚美学園大学	2	2	10	17	42	-25	8
8	筑波大学	0	3	11	3	30	-27	3

関東大学女子サッカーリーグ戦1部 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	早稲田大	18	6	0	1	+14
2	神奈川大	16	5	1	1	+14
3	日本体育大	16	5	1	1	+11
4	関東学園大	10	3	1	3	+1

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
5	武蔵丘短大	10	3	1	3	-1
6	尚美学園大	9	3	0	4	-5
7	筑波大	3	1	0	6	-15
8	慶應義塾大	0	0	0	7	-19

関東大学女子サッカーリーグ戦2部 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	国士舘大	21	7	0	0	+36
2	大東文化大	15	5	0	2	+14
3	山梨大	15	5	0	2	+12
4	順天堂大	10	3	1	3	+2

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
5	東京女子体育大	9	3	0	4	-6
6	日本女子体育大	5	1	2	4	-9
7	東京情報大	5	1	2	4	-13
8	東京学芸大	1	0	1	6	-36

関東大学女子サッカーリーグ戦3部 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	東京国際大	21	7	0	0	+96
2	東京外語大	18	6	0	1	+29
3	茨城大	15	5	0	2	+31
4	帝京大	10	3	1	3	-12

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
5	千葉大	8	2	2	3	+9
6	文理学部秋大	7	2	1	4	-7
7	埼玉大	3	1	0	6	-30
8	創価女子短大	0	0	0	7	-116

第20回全日本大学女子サッカー選手権大会

11月25日～1月5日 国立競技場他

●一次ラウンド

A グループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	吉備国際大	7	2	1	0	+12
2	早稲田大	7	2	1	0	+9
3	尚美学園大	3	1	0	2	-6
4	姫路獨協大	0	0	0	3	-15

D グループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	神奈川大	7	2	1	0	+7
2	武蔵丘短大	5	1	2	0	+1
3	武蔵川女子大	4	1	1	1	+2
4	愛媛女子短大	0	0	0	3	-10

※日本体育大学と神奈川大学が両チーム優勝。

第7 回関東高校女子サッカー大会

11月12日～20日 尚美学園大学他

1 回戦

飛鳥	2-0	入間向陽
宇都宮中央女子	1-1	川口総合
	(4PK 2)	
久喜	5-1	太田女子
花咲徳栄	1-4	成立学園
文京学院	0-0	埼玉平成
	(5PK 4)	
桐生女子	0-12	本庄第一

2 回戦

久喜	0-2	成立学園
横浜翠陵	0-2	本庄第一
健大高崎	0-2	本庄第一
本庄第一	0-1	修徳
日本航空	1-0	本庄第一

※優勝は修徳(東京)

第24回関東少女サッカー大会

11月26日、27日 山梨県・押原公園

●予選リーグ

順位	グループB	勝点	得失差
1	戸木南	6	+4
2	吉井R.S.	3	±0
3	FC厚木	0	-4

順位	グループD	勝点	得失差
1	千葉中央	4	+3
2	TSガールズ	3	-2
3	南大沢FC	1	-1

●決勝トーナメント

1位～4位トーナメント 松戸FC 0-0 戸木南ボンバーズ (2PK 1)

3位決定戦 戸木南ボンバーズ 0-0 横浜ウインズ (4PK 3)

※優勝は千葉中央FC。戸木南ボンバーズは3位、TSガールズは6位。

フットサル

第13回関東フットサルリーグ 1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	フウガ東京	8	3	3	40	27	+13	27
2	ゾット早稲田	7	3	4	38	37	+1	24
3	柏イーグルスTOR'82	6	4	4	40	35	+5	22
4	ファイルフォックス府中	6	4	4	49	44	+5	22
5	カフリング東久留米	6	2	6	41	42	-1	20
6	ブラックショーツ	6	1	7	51	50	+1	19
7	アルティスタ埼玉	3	3	8	37	42	-5	12
8	コロナフットボールクラブ樺田	3	2	9	43	62	-19	11

第13回関東フットサルリーグ 2部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	バルドラール浦安セグンド	8	3	0	44	25	+19	27
2	malva fc	8	1	2	54	19	+35	25
3	デルソーレ中野	8	1	2	43	24	+19	25
4	funf spieler YAMANASHI	6	4	1	35	22	+13	22
5	ミリオネア横浜	5	2	4	28	31	-3	17
6	FUTURO	5	1	5	37	33	+4	16
7	NOVO MENTE	5	1	5	44	43	+1	16
8	FCmm	4	1	6	39	37	+2	13
9	Iwatsuki Futsal Club / tzk	3	1	7	38	49	-11	10
10	三栄不動産FC宇都宮	2	2	7	30	35	-5	8
11	大洋薬品/BANFF TOKYO	1	1	9	23	43	-20	4
12	AC Snr 千葉	0	4	7	17	71	-54	4

第2 回関東女子サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	バルドラール浦安ラスボニータス	7	2	0	34	10	+24	23
2	FUNフットサルクラブ Ladies com VEEX	5	3	1	36	9	+27	18
3	Aventura Kawaguchi	5	2	2	22	9	+13	17
4	Amaralo / 峰FC	4	1	4	39	22	+17	13
5	FFC Estrela NOVO川口	4	1	4	20	19	+1	13
6	BORBOLETA FUTSAL	3	1	5	26	31	-5	10
7	セウパレータ*A&S	2	2	5	20	25	-5	8
8	malva ragazza fc	0	0	9	3	75	-72	0

第27回全国選抜フットサル大会

9月30日、10月1日 小瀬スポーツ公園体育館

●Aグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	大阪府選抜	7	2	1	0	17	9	+8
2	岡山県選抜	6	2	0	1	7	7	±0
3	埼玉県選抜	3	1	0	2	7	12	-5
4	石川県選抜	1	0	1	2	8	11	-3

※優勝は神奈川県選抜。

第17回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月26日、12月3日 前橋市民体育館

●1次ラウンド・グループB

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	Futsal Club BUBBLE Asaka	6	2	0	0	12	5	+7
2	千葉サッカークラブ(U-15)	3	1	0	1	8	5	+3
3	コンフィアール町田JY	0	0	0	2	3	13	-10

●2次ラウンド

Malva Urayasu 7-1 BUBBLE Asaka

※BUBBLE Asakaは3位。優勝はmalva mito。

第8 回全日本女子フットサル選手権大会関東大会

9月10日、11日 小瀬スポーツ公園体育館メインアリーナ

●予選リーグ・Bブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	武蔵丘短期大学シエンシア	6	2	0	0	7	2	+5
2	Forest ANNEX	3	1	0	1	1	3	-2
3	セウパレータ A&S	0	0	0	2	2	5	-3

●決勝トーナメント

Amaralo/峰FC 1-1 武蔵丘短期大学シエンシア (4PK 1)

3位決定戦 武蔵丘短期大学シエンシア 1-3 バルドラール浦安ラスボニータス

※優勝はAmaralo/峰FC。武蔵丘短期大学シエンシアは4位。

第2 回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月26日、12月3日 前橋市民体育館

1回戦 FC La Luce 0-6 埼玉県女子U-15選抜

2回戦 YSCCコスモス 3-1 埼玉県女子U-15選抜

※優勝はYSCCコスモス。

●北部にて、タウンミーティングを開催

11月12日、熊谷市文化創造館「さくらめいと」において、北部地区連絡協議会主催で「タウンミーティング」を開催しました。これが10年8月に設立された北部地区連絡協議会の初事業となりました。146名の方に参加していただき、横山副会長よりSFAミッションの紹介から今年度の施策や目標などの説明をさせていただきました。

質疑応答では、インターンシップについて「初めて聞いた」という質問もあり、更なる周知が必要だという課題も出ました。

北部には熊谷スポーツ文化公園という素晴らしいハードがあります。さらにいいチーム、いい選手を輩出していただき、埼玉だけでなく日本のサッカーを盛り上げていただきたいものです。（※ 随時、タウンミーティングの受付を行っております。詳細は事務局までお願いします）



●「JFAレディースサッカーフェスティバル2011 in 埼玉」開催

11月23日、埼玉スタジアム第4グラウンドにおいて、「JFAレディースサッカーフェスティバル2011 in 埼玉」が開催されました。チーム参加、個人参加も含めて110人もの皆さんに参加していただきました。ありがとうございました。

前回までは8人制のゲームを行うだけでしたが、今回はゲームの前に大宮アルディージャ育成部スタッフにウォーミングアップを兼ねたサッカークリニックを行ってもらいました。なかなか、教えてもらうという場がないせいかもしれませんが、思いのほかクリニックを楽しんでいたのは大きな成果でした。ゲームだけでなく、それ以前にボールと親しむ場づくりが必要なのかもしれません。

その後、10グループに分かれ、6分ハーフのゲームを4試合ずつ行い、楽しんでいただきました。

インフォメーション

●戸田市でJFAフットボールデー開催

10月23日、人工芝に改装された戸田市惣右衛門サッカー場において、埼玉県下では初めての「JFAフットボールデー in 埼玉」が開催されました。戸田市サッカー協会の協力により、キッズ、女子、シニアと5歳から80歳のサッカー仲間が集まり、サッカー教室とゲームを楽しみました。

編集後記

●冬の京都の禅寺を訪ねた。禅の庭を鑑賞し、しばし過ぎゆく時間を忘れ心が癒された。禅の庭には「わび・さび」の精神である相手に対する思いやりの心が込められているとか。SFAが目指すフェアプレー日本一の原点であるリスペクトと相通じる。

昨年は、なでしこジャパンの活躍に沸いたが、W-Cupとオリンピックの両タイトルを獲得した国はまだ無い。ロンドンで、なでしこの花を咲かせて欲しい。辰の歳、龍のごとき元気に昇りますよう、皆様のご活躍を祈念いたします。（高橋）

●明けましておめでとうございます。今年はW杯予選が埼玉で行われます。皆さんで応援を……頑張ろう日本。（坂庭）

●昨年は年頭に立てた3つの目標を何一つ達成できず。今年の目標は、『昨年の目標を継続！そして達成！！』今年こそ頑張ります！！（こいち）
●年末年始は普段とは違う時間が過ぎていき、慌ただしくも少し特別な感じがします。年が明けていつも思うのは、気持ちも新たに良い方向へ進んでいければ……ですが、今年は？！（かのう）

●「日々是れ新たなり」。毎朝、心があらたまれば、

今回は、「戸田市サッカーの父」と呼ばれる菅野一郎さんの傘寿のお祝いがメインイベントでした。戸田中、戸田東中で指導を受けた元生徒たちが集まり、シニアとして現役プレーヤーである菅野さんを囲み、サッカーを通じて共に元気であることを喜び合っていました。なお、詳細は「JFA NEWS」11月号に掲載されています。ご覧ください。



●2012レディースサッカーフェスティバル開催

高校生以上の年代の女性へのサッカーの普及を目的に開催されます。以下、要項です。よろしくお願いします。

日 時： 平成24年2月26日(日) 9:00～16:00

（受付は8:30から）

会 場： 埼玉県サッカー協会・東松山サッカー場

参加資格： サッカーに興味ある高校生以上の女性（経験の有無は問わない）

実施内容： 8人制サッカーゲーム・トーナメント又はリーグ戦

募集人数： 16チーム程度。1チーム8人程度。個人参加も可

参 加 費： 無料（交通費等は自己負担）

申込方法： ホームページから別紙申込書をダウンロードし、必要事項を記入して下記へFAXして下さい。

県立久喜高等学校内 埼玉県女子サッカー連盟女子技術委員長・長谷川暁雄宛

FAX番号： 0480-29-1024

締め切り： 2月17日(金) 17時まで

●2月から、U-18リーグが開幕

2月19日から各会場において「高円宮杯U-18サッカーリーグ2012埼玉県リーグ」が始まります。S1リーグ、S2A・Bリーグがそれぞれ8チームずつ、以下東西南北の支部リーグで行われます。11年度と異なるのは、2回戦制にしたこと（各支部のトップリーグまで）と複数チームの参加を認めたこと（2チーム目は各支部リーグの最下位リーグに参入）です。また、試合後には公式戦ではありませんが、同じ組み合わせのBチーム同士の試合も行うことになっており、選手の出場機会をできるだけ増やそうと考えています。

県内で切磋琢磨できる環境を整えることが、埼玉県の2種の魅力を引き上げることと考えています。また、選手たちが熱戦を繰り広げ、指導者が成長することが埼玉のレベル向上に繋がると確信しています。日程など詳細は、ホームページでご確認ください。多くの皆さんの応援をお待ちしています。よろしくお願いします。（埼玉県ユースリーグ事務局長・田中龍太郎）

【参考】S1リーグ……西武台、武南、浦和東、正智深谷、埼玉栄、市立浦和、昌平、西武文理

毎日がお正月。あらたまった心には全てのものが新しい。これは、松下幸之助さんの言葉でございますが、皆さんで元気で明るい2012年にしましょう！（小豆澤）

●花粉症シーズン到来！ 昨年より花粉症にかかってしまったので、今年は必ず予防接種をしなくては……栗島さんと共に今年もこの壁を乗り越えます！（佐々木）

●新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。第4種リーグ戦も第6回を迎えます。月日の経つのは早いですね。（栗島）